

# 2009年H1N1 新型インフルエンザワクチン

不活性化  
(「インフルエンザ予防接種」)

知っておくべきこと

多数のワクチン発表情報はスペイン語およびその他の言語で読むことができます。www.immunize.org/visをご覧ください。

## 1 2009年H1N1新型インフルエンザとは？

2009年H1N1新型インフルエンザ(豚インフルエンザとも呼ばれる)は新種のインフルエンザウイルスが原因となって引き起こされます。これは多くの国々に広がりました。

その他のインフルエンザウイルス同様、2009年H1N1新型インフルエンザは、咳、くしゃみによる人から人への感染と、ウイルスで汚染されたものとの接触による感染とで広がります。

2009年H1N1新型インフルエンザの起こり得る症状:

- ・疲労
- ・発熱
- ・咽頭痛
- ・筋肉痛
- ・悪寒
- ・咳
- ・くしゃみ

下痢や嘔吐を伴うこともあります。

大抵は1週間以内で快方に向かいます。しかし、肺炎やその他の重篤な疾患を発症することもあります。入院が必要となったり、死に至ることもあります。

## 2 2009年H1N1新型インフルエンザは通常の(季節性)インフルエンザとどう違いますか？

季節性インフルエンザウイルスは毎年異なりますが、それらのウイルスは互いに密接に関係しています。

過去にインフルエンザに感染した人は、季節性インフルエンザウイルスに対しある程度の免疫ができていることが普通です(体内にいくらかのウイルス防御能力を蓄えています)。

2009年H1N1新型インフルエンザウイルスは新種のもので、季節性インフルエンザウイルスとは非常に異なっています。

大部分の人には、2009年H1N1新型インフルエンザに対する免疫がほとんどまたは全くありません(体にウイルス防御機能が備わっていません)。

## 3 2009年H1N1新型インフルエンザワクチン

2009年H1N1新型インフルエンザを予防するワクチンがあります。

- ・これらのワクチンは季節性インフルエンザワクチンと同じように製造されています。
- ・季節性インフルエンザワクチンと同じ安全性と有効性が期待されます。
- ・その他のウイルスが原因となる「インフルエンザ類似」疾患を予防することはできません。
- ・季節性インフルエンザを予防することはできません。季節性インフルエンザを予防するには、季節性インフルエンザワクチンの接種も受ける必要があります。

不活性化ワクチン(破壊されたウイルスを含むワクチン)は、例年実施されるインフルエンザ予防接種のように、筋肉に注射されます。この用紙には不活性化ワクチンの説明が記載されています。

経鼻生ワクチン(鼻スプレーワクチン)もご利用いただけます。これについては別紙をご覧ください。

一部の2009年不活性化H1N1新型インフルエンザワクチンには、細菌防止のためチメロサルと呼ばれる保存剤が入っています。チメロサルは一部で自閉症との関連性が指摘されています。2004年、米国医学研究所(Institute of Medicine)の専門家グループが多数の研究を検討しこの説について調査しましたが、チメロサルと自閉症との関連性は見出されませんでした。それ以降のその他の研究でも同じ結論に達しました。

## 4 2009年H1N1新型インフルエンザワクチンの接種対象者と、接種時期とは？

### 接種対象者

2009年H1N1新型インフルエンザワクチンの優先的接種が推奨されている対象者:

- ・妊婦
- ・6ヶ月未満の乳児と同居または世話する者
- ・医療従事者および救急医療スタッフ
- ・月齢6ヶ月から24歳までの者
- ・特定の慢性病または低下した免疫力を持つ25~64歳までの成人

ワクチンが広く利用可能になれば、接種が推奨される対象者:

- ・25~64歳の健常者
- ・65歳以上の成人

連邦政府は、自主的な接種のためにこのワクチンを提供しています。しかし、州法または雇用主が特定の人を対象に予防接種を義務付ける場合があります。

### 接種時期

ワクチンが利用可能になった時点で、できる限り早期に接種を受けてください。

9歳までの子供は、約1ヶ月の間隔を開けて、**2回の接種**を受けるべきです。これより年長の子供および成人は1回だけ接種が必要です。

## 5 ワクチン接種を受けるべきでない場合、または延期した方がよい場合

卵またはワクチン内のその他の薬物に重篤(致命的)なアレルギーがある場合、2009年H1N1新型インフルエンザの予防接種は受けるべきではありません。重篤なアレルギーのある方は、接種投与者にその旨を伝えてください。

以下の既往症のある方も、その旨を伝えてください。

- ・季節性インフルエンザワクチン接種後の致命的なアレルギー反応
  - ・ギラン・バレー症候群 (Guillain-Barré Syndrome) (重篤な麻痺性疾患でGBSとも呼ばれる)。
- これらはワクチン接種を受けない理由にならないかもしれませんが、受けるかどうかの決定において医療スタッフから助言が得られます。

中程度または重度の病気にかかっている場合、回復するまでワクチンの接種を延期するよう忠告されるかもしれません。軽い風邪やその他の軽い病気にかかっている場合、通常、延期の必要はありません。

妊婦や授乳中の方でも、2009年不活性化H1N1新型インフルエンザワクチンの接種を受けられます。

2009年不活性化H1N1新型インフルエンザワクチンは、季節性インフルエンザワクチンを含む、他のワクチンと同じ時に接種可能です。

## 6 2009年不活性化H1N1新型インフルエンザワクチンによるリスクとは？

あらゆる薬剤と同様に、ワクチンは激しいアレルギー反応など重篤な問題の原因となる恐れがあります。しかし、ワクチンが重篤な害または死亡の原因となる危険性は非常に低いものです。

2009年不活性化H1N1新型インフルエンザワクチン内のウイルスは破壊されているため、ワクチンからインフルエンザに感染することはありません。

2009年不活性化H1N1新型インフルエンザワクチンから受けるリスクは、季節性不活性化インフルエンザワクチンのものと類似しています。

### 軽い症状:

- ・接種部位の痛み、発赤、圧痛、または腫れ
- ・失神(主に青年期の若者)
- ・頭痛、筋肉痛
- ・発熱
- ・吐き気

これらの症状が起こる場合、接種後直ちに始まり、1~2日続くことが普通です。

### 重度の症状:

- ・ワクチンによる致命的なアレルギー反応は非常に稀です。起こるとすれば、接種後2、3分から2、3時間の間に生じることが普通です。
- ・1976年、初期型の不活性化豚インフルエンザワクチンはギラン・バレー症候群(Guillain-Barré Syndrome, GBS)の症例と関連付けられました。それ以来、インフルエンザワクチンは明確にGBSと関連付けられていません。

## 7 重篤な反応があった場合はどうしますか？

### 気を付けることは？

高熱または普通でない様子など、平常でない状態に気を付けてください。重篤なアレルギー反応の徴候には、呼吸困難、声がれ、喘鳴、じんま疹、顔面蒼白、脱力感、動悸、またはめまいが含まれることがあります。

### どの様に対応すれば良いでしょうか？

- ・医師に連絡するか、症状のある人を直ちに医師に連れて行ってください。
- ・症状、発症した日時、予防接種日を医師に知らせてください。
- ・Vaccine Adverse Event Reporting System (VAERS: 予防接種有害事象報告システム)用紙を提出するよう医療提供者に要請してください。または、ご自身でVAERSウェブサイト [www.vaers.hhs.gov](http://www.vaers.hhs.gov)、もしくは1-800-822-7967に電話して報告することもできます。

VAERSは医療上の助言はいたしません。

## 8 ワクチン障害補償

ご自身やお子様にワクチンによる反応があった場合、告訴の権限は法律で制限されています。

しかし、このワクチンによる重篤な反応を持つ特定の人に対し医療費やその他特定費用の支払いを支援する連邦制度が制定されました。この制度に関する詳細は、1-888-275-4772にお電話いただくか、または当制度のウェブサイト [www.hrsa.gov/countermeasurescomp/default.htm](http://www.hrsa.gov/countermeasurescomp/default.htm) をご覧ください。

## 9 もっと詳細を知りたいのですが？

- ・医療提供者にお尋ねください。その際、予防接種の添付説明書を受け取ったり、その他の情報源を入手できます。
- ・自治体または州の保健所にお電話ください。
- ・以下のCenters for Disease Control and Prevention (CDC: 疾患管理予防センター)にご連絡ください。
  - 1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO) にお電話いただくか、または
  - CDCのウェブサイト [www.cdc.gov/h1n1flu](http://www.cdc.gov/h1n1flu) もしくは [www.cdc.gov/flu](http://www.cdc.gov/flu) をご覧ください。
- ・ウェブサイト [www.flu.gov](http://www.flu.gov) をご覧ください。



DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES  
CENTERS FOR DISEASE CONTROL AND PREVENTION



Vaccine Information Statement

2009 H1N1 Inactivated Influenza Vaccine IMM-980J – Japanese (10/2/09) 42 U.S.C. §300aa-26  
Translated by Transcend Translations, Davis, CA [www.transcend.net](http://www.transcend.net)